

# 病院に『縦糸』と『横糸』を紡ぎ 織りなす未来への仕組みづくり

50年目を迎えた井上病院は、総合内科を新設し、専門医療と高齢者医療を紡いでいきます!



事務部部长 安庭和孝

院長 辻本吉広

総合内科部長 濱田治

腎臓内科部長 藤原木綿子

看護部部长 平井智美

## 井上病院 総合内科の設立と展望

井上病院に新設された総合内科に関する座談会を開催しました。総合内科の濱田部長、辻本院長、平井看護部長、安庭事務部長、そして腎臓内科の藤原部長が参加しました。それぞれの視点から総合内科の設立背景、目的、そして期待される影響について深掘りしていきます。

### 総合内科を新設した理由

**辻本** 井上病院はこれまで腎臓・透析医療を専門として、地域医療にも貢献してきました。超高齢社会の進展に伴い、複数の持病を抱える患者さんが増え、これに対応するため同じグループ病院の高槻病院から総合内科医師を招き入れました。

**濱田** 総合内科は、専門医や多職種縦の診療に、横断的な視点を組み入れることを目指しています。異なる専門分野が織り交ぜられた、まるで縦糸と横糸を紡ぐような診療をしたいと思っています。



▲総合内科 濱田医師

### 新規採用した診療看護師(NP)

**濱田** NPは5年以上の看護経験を持ち、大学院の修士課程を終えて資格認定試験に合格しています。NP

ることにも大きな期待を寄せています。

### 未来のビジョン

**濱田** 筒泉貴彦先生(高槻病院総合内科主任部長)が同じグループ病院の明石医療センター、そして高槻病院で総合内科の立ち上げに関わってきました。今回、私が井上病院で総合内科を立ち上げる機会を得て、まるで人気ラーメン店ののれん分けを受けた店長のような気持ちです。本家の診療や仕組みを継承しつつ、井上病院ならではのオリジナルな医療を展開したいと考えています。本家より有名になる気概で頑張ります!

**辻本** 当院のように急性期から亜急性期に対応している病院で、総合内科やNPを診療体制に組み込んでいる病院は全国的にも珍しいと思います。この体制は患者さんや、そのご家族にとっても安心材料となります。今後はこの体制を強みに加え、さらに多くの患者さんへ選ばれる病院にしたいですね。

**安庭** 総合内科は、開設から順調なスタートを切っています。時代に先んじた取り組みを行うことで、選ばれる病院としての地位を確立したいです。また、医療従事者にとっても魅力的な職場環境を整え、多くのプロフェSSIONナルが集まる、働きがいのある病院を目指しています。

**濱田** 中島みゆきさんの名曲『糸』のように、井上病院の既存の診療(縦の糸)と私たち総合内科が新たに加わり横の糸を紡ぎ、未来に向けた医療の体系を構築したいと考えています。数年後にこの取り組みを振り返り、『逢つべき糸に出逢えた』と感じられるような成果を実現したいです。

は医師の治療(Cure)に関する視点と、看護師の患者生活支援(Care)に関する視点の両方を兼ね備えています。高齢者診療では、この二つの視点は不可欠で、医師とNPが協力してチーム診療を進めています。

**平井** 総合内科NPが加わることで、疾患治療と退院支援の一体化が進み、患者さんの社会復帰をスムーズに進めたいですね。

※NP: Nurse Practitioner(診療看護師)



▲総合内科の鴻池NP

### 総合内科への期待

**安庭** 井上病院開院から50年目となるこの年に総合内科を新設し、腎臓病や糖尿病、透析関連医療の更なる強化と、高齢者医療の充実を図り、地域の急性期救急病院と緊密な連携を図りながら、「救急治療が落ち着いたあと、引き続きの治療とリハビリを行うなら井上病院!」と地域の皆様に感じていただけるような病院を目標にしたいです。

**藤原** 総合内科の設立により、内科のマンパワーが増し、新規入院患者の受け入れや他科との連携が効率的になり、専門診療に集中できるようになりました。また、診断や管理に困難を伴う症例についても相談が可能になり、当院での診療の幅を広げていければと思います。



▲濱田医師に相談する看護師

**平井** 看護部の総合内科に対する期待が非常に高まっています。特に朝番の回診、フットワークの軽さ、相談のしやすさ、そしてカルテの記載が分かりやすいことなどに称賛の声が上がっています。高齢患者さんの多様なニーズに応じられることで、患者さんが安心して快適な療養生活を送れるようになるのと同時に、職員モチベーション向上にも繋がると思います。

**濱田** 井上病院の多職種チームの力強さに本当に驚かされています。患者さんの日常生活を考慮した的確な介入を行うスタッフが多く、その姿勢に感銘を受けています!

**藤原** 診療科同士の連携だけでなく、井上病院の多職種チームが持つ強みを生かし、横断的な協力を深め